

製品名: Frizzled-10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11140**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	FZD10
別名	FZD10; Frizzled-10; Fz-10; hFz10; FzE7; CD antigen CD350
遺伝子 ID	11211.0
SwissProt ID	Q9ULW2
免疫原	抗血清はヒト FZD10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 135-184

背景

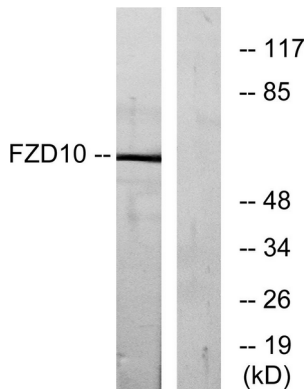
この遺伝子は frizzled 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバーは、Wingless 型 MMTV 統合部位ファミリーのシグナル伝達タンパク質の受容体である 7つの膜貫通ドメインタンパク質をコードしています。frizzled 受容体のほとんどは、 β -カテ

ニンの標準的なシグナル伝達経路に結合しています。アレイ解析により、このイントロンを持たない遺伝子の発現は、原発性大腸癌の2症例で有意に上昇していることが示されました。[RefSeq 提供、2008年7月],domain:Lys-Thr-X-X-Trp モチーフは、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達経路の活性化に関与しています。 ,domain:FZ ドメインは Wnt リガンドとの結合に関与しています。 ,function:Wnt タンパク質の受容体。 frizzled 受容体のほとんどは、 β -カテニンを介した標準的なシグナル伝達経路に結合しており、この経路は disheveled タンパク質の活性化、GSK-3 キナーゼの阻害、 β -カテニンの核内蓄積、そして Wnt 標的遺伝子の活性化につながります。 PKC とカルシウムフラックスを介した2つ目のシグナル伝達経路が、ファミリーメンバーの一部で確認されていますが、PKC は Wnt を介した GSK-3 キナーゼの不活性化に必須であると考えられるため、これが独立した経路なのか、それとも標準的な経路に統合できるのかはまだ明らかではありません。どちらの経路も G タンパク質との相互作用を伴うようです。組織形態形成過程および / または分化組織における極性情報の伝達および細胞間伝達に関与している可能性がある。 ,類似性: G タンパク質共役受容体 Fz/Smo ファミリーに属する。 ,類似性: 1つの FZ (frizzled) ドメインを含む。 ,組織特異性: 胎盤および胎児腎臓で最も高く、次いで胎児肺および脳に発現する。成人の脳では、小脳に豊富に発現し、次いで大脳皮質、延髄、脊髄に発現する。脳全体、前頭葉、側頭葉、被殻では非常に低いレベルに発現する。成人の脳、心臓、肺、骨格筋、膵臓、脾臓、前立腺では弱い発現が検出される。 ,

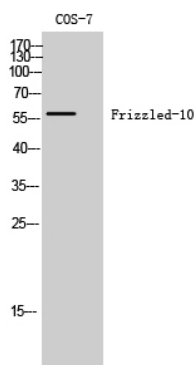
研究分野

WNT、WNT-T 細胞、メラニン生成、がんの経路、大腸がん、基底細胞がん

画像データ



FZD10 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Frizzled-10 ポリクローナル抗体を用いた COS-7 細胞のウェスタンブロット解析